

## 第31回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練計画書

鬼崎ヨットクラブ安全委員会

- 1 実施日 平成29年9月3日(日)
- 2 会場 (1) 陸上訓練  
鬼崎ヨットクラブ クラブハウス  
(2) 海上訓練  
鬼崎フィッシャリーナ沖水域
- 3 内容 (1) 午前の部  
9:00 会長の挨拶  
OYC各委員からの連絡事項  
安全訓練の概略説明(艇長会議)  
9:30 海上保安庁による安全講話  
10:00 陸上訓練開始  
陸上訓練の概要  
常滑消防署の指導による救急法及び  
AEDによる心肺蘇生方法等  
11:00 陸上訓練終了

---

- (2) 午後の部  
13:00 出艇(鬼崎フィッシャリーナ沖訓練水域に移動)  
13:30 海上訓練開始  
海上訓練の概要(海上訓練プログラムのとおり)  
15:00 海上訓練終了  
15:30 帰港・解散
- 4 参加艇 (1) 鬼崎ヨットクラブ所属全艇  
(2) 常滑警察署所属警備艇 ところなめ愛2  
(3) 中部空港海上保安航空基地 レスキュー艇(ゴムボート)
- 5 体制 (1) 本部艇 Carina  
川添安全委員長、田仲安全副委員長、他1名  
(2) 連絡艇 YMCAYヨットクラブレスキュー艇  
YMCAYヨットクラブ会員2名(写真撮影を兼務)、  
海上保安庁1名

## 海上訓練プログラム

### 1 準備

- (1) 参加全艇乗員は、ライフジャケットを着用して乗艇する。
- (2) 参加各艇は、アマチュア無線機及びVHF無線機を使用できる状態にして待機する。

連絡周波数 アマチュア無線 432.90MHz

予備周波数 432.80MHz

VHF無線 通話72チャンネル

### 2 訓練割り当て

#### (1) 無線通信訓練

##### ア 参加艇

全艇

##### イ 訓練内容

本部艇からアマチュア無線及びVHF無線で各艇を呼び出し、各艇は、本部艇に応答する。ことによって無線の運用訓練とする。

#### (2) 荒天帆走訓練

##### ア 参加艇

全艇

##### イ 訓練内容

メインセールとジブセールをフル展開で帆走中に、天候が悪化したと想定して、以下の要領で帆走する。

(ア) メインセールを1ポイント又は2ポイント縮帆する。

(イ) ジブセールをストームジブに変更するか、ジブファーラーを適切な大きさまで巻き込む。

#### (3) 落水者救助訓練1

##### ア 参加艇

海上保安庁レスキュー艇、YMCAレスキュー艇

##### イ 訓練内容

YMCAレスキュー艇から海上保安庁職員が落水して、海上保安庁レスキュー艇が落水者を救助する。

#### (4) 落水者救助訓練2

##### ア 参加艇

全艇

##### イ 訓練内容

フェンダー等を落水者に見立てて、以下の要領で訓練を行う。

(ア) 落水事故が発生したら、直ちに浮環及びダンブイ（落水者マーク）

を投下する。

(イ) 操船要員以外の者は、落水者を指示して見張りを続ける。

(ウ) 艇を反転させて、落水者の風上側に艇を停止させて、落水者を艇上に引き上げる。

※救助活動に入ったら、直ちに国際信号旗「O」旗を掲揚して「救助活動中」であることを周囲の船舶に示す。

※以前は、「落水者を風下から救助する。」とされていたが、風下からだとヨットが風により落水者から離れるので、「風上側から救助する。」。

## (5) 曳航訓練 1

### ア 参加艇

#### 全艇

救助艇(航行不能艇)	救助艇(航行不能艇)
はやぶさ	せいりょうパラダイス
ISE V	Zic Zac II
グランメール	BARIHAI
波光	高波 III
QUERIDA ZERO	Only You - 2
風の如く	BROWN SUGAR II
ミストラル IV	J brow
ひねもす IV	カレス II
QUERIDA	LUNA - V
シャチ二世	志摩
アルバトロス II	コロ助
雲	Sky Time
Coo Coo Six	らくだ
HIBISCUS - III	めいとく丸
FORTE	美洲
P P	The Sence of Wonder

### イ 訓練内容

(ア) 航行不能艇は国際信号機 N C 旗を掲揚して漂流する。救助艇は、航行不能艇に近づいて、曳航手順を説明して曳航する。

(イ) 救助艇と航行不能艇を交代して実施する。

## (6) 曳航訓練 2

### ア 参加艇

(ア)救助艇 常滑察署とこなめ愛2

航行不能艇 マイマイ

(イ)救助艇 海上保安庁ゴムボート

航行不能艇 S A T A III

#### イ 訓練内容

(ア)航行不能艇は国際信号機NC旗を掲揚して漂流する。救助艇は、航行不能艇に近づいて、曳航手順を説明して曳航する。

(イ)航行不能艇から救助艇への乗り換えは行わない。

### 3 連絡艇

YMCAヨットクラブのレスキュー艇が連絡係を担当し、本部艇と無線機を搭載していない各艇との連絡及び訓練の写真撮影を行う。

以上